

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後クラブいんくる			
○保護者評価実施期間	2026年1月13日 ～ 2026年1月16日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32世帯	(回答者数)	13世帯
○従業者評価実施期間	2026年1月13日 ～ 2026年1月16日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数)	1名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月24日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々の関わりの中で子どもたちの小さな変化や気持ちに気づき、保護者や学校等の関係機関と日常的に情報共有を行い、安心して利用できる支援体制を整えている。	子どもたちが、「やってみよう」「伝えよう」と思えるよう、遊びや会話を通して気持ちを引き出す関わりを大切にしている。	子どもたちの「好き」「得意」を把握し、成功体験や達成感につながる活動を増やしていく。
2	年齢や障がいの有無に関係なく、子ども同士が自然に関わり合える環境がある。	職員と一緒に遊びや活動に参加し、安心できる人間関係の中で、集団活動を経験できるようにしている。また、同系列の児童発達支援事業所や認可外保育園と交流できる機会も多い。	異年齢児と接する機会を持つことで、距離感や優しさ、社会性を伸ばすことができる。
3	活動や療育、遊びに合わせて、環境整備を行うことができる。	2階、3階と部屋が分かれていることで、利用人数やその日の様子に応じて、落ち着いて過ごせる空間や活動内容を柔軟に調整している。	小集団や個別化した環境を整備していき、子どもたちの活動に合った空間づくりをさらに行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	3階建なので、階段がある。	プレイルームや学習室が2階、3階と分かれているため、階段を昇り降りする必要がある。	子どもたち一人ひとりに合わせ、職員が個別に対応したり、ゆっくり安全に、昇り降りの声掛けをすることで危険予測を促す。
2	活動内容や行事の目的の周知が困難。	学校の行事等と重なり、出席につながらない。また、各学校の行事の把握が十分できない場合がある。	季節行事やレクリエーションを取り入れ、楽しみながら経験をつめる機会をつくっていく。また、各学校行事を保護者と共有し、把握することで魅力ある活動や行事を企画し周知していく。
3			